



自分だけの海を作りました！

8月6日（木）、屋代公民館は子ども工作教室「うみのふしぎ！水の中をのぞいてみよう！」を開催し、小学1年生から6年生の29人が参加しました。

講師の先生の説明を聞いた後、ビンの中に貝がらやビーズなどを詰めて、思い思いの海を作りました。

特集 夏休みの思い出

《主な掲載記事》

特集 夏休みの思い出	2～3
夏山ハイキング	4～5
各館の活動報告・市民講座	5
サークル紹介・わがまちの自慢 ..	6
リレーエッセイ・成人式実行委員会開催	7
もっと知りたいふるさと	8
(稲荷山地区)	

特集

夏休みの思い出

屋代公民館 小さな海の世界

屋代小学校5年 村松 瑚々那

8月6日(木)、「うみのふしぎ! 水の中をのぞいてみよう!」に参加しました。

ビンの中にビーズや石、貝がらなどを入れて作る工作でした。わたしは、くらやみの海をイメージしながら、材料を選ぶことにしました。こい青の小石を多くつかい、少しづつ、白や水色のビーズなどを入れていきました。そのうえに、くらやみの海にあった色のさんごや、かいそうのパーツを入れていきました。さんごの上にぴったりのタツノオトシゴを最後に入れました。完成した作品は、イメージどおりに仕上がりました。今回の工作には、妹も参加しました。妹の作品は、カラフルで貝がらや海の生き物がたくさん入った海ができていました。同じ工作でも選ぶ材料やイメージする海の世界がちがうと、こんなにもちがう作品になるんだなと思いました。わたしも妹もとてもまんだくのいく作品ができました。



どんな海にしようかな～?



姉妹と一緒に!

大切に家にもちかえり、げんかんに2つならべてかざりました。げんかんが夏らしく、とてもすずしげになりました。とても楽しかったです。

埴生公民館 初めての 大筆体験

埴生小学校4年 宮入 葵

夏休みに埴生公民館の大筆体験会に参加しました。

私は学校の授業以外で書道をやったことがなかったので、初めて大筆を見た時、その大きさにびっくりしました。

まず、先生に文字のクイズを出してもらい、次に半紙で練習をしました。

そして、大筆では「空」と「光」という字を書くことに



見本を見ながら練習中

しました。大筆で使う紙は、私の身長と同じくらいの高さでした。こんなに大きな紙に字を書くのは初めてだったので、わくわくしました。実際に書いてみると、いつもの筆とはちがいで、手だけではなく体を大きく動かさないとうまく書けません。大きな筆を動かしながら、字の形を整えて書くところが難しかったです。でも、大筆にたっぷり墨をつけて、大きな紙に思いきり「空」と「光」を書くのが、一番楽しかったです。書き終わった作品を見ると、とても大きくてはく力があり、うれしかったです。ほかの人の作品を見るのも楽しく、同じ大筆でも、いろいろな字や書き方があることが分かりました。

初めての筆は難しかったけれど、ふだんはできない体験ができて楽しかったです。また大筆でいろいろな字を書いてみたいです。



いよいよ大筆に挑戦!

稲荷山公民館 楽しかった子ども ゼミナール

治田小学校3年 深澤 あかり

7月30日に夏休み子どもゼミナールに行きました。午前中の木工教室では、「ミニいす」を作りました。くぎをまっすぐうつのがむずかしかったけど、教えてもらいながらすてきなすができうれしかったです。

お昼にはスイカわり大会がありました。なかなかきれいなところが面白かったです。お昼ごはんは、木工教室で同じはんだったお姉さんが、「いっしょに食べない?」とさそってくれました。お姉さんたちといっしょに食べたごはんはすごくおいしかったです。午後はモルック大会をしました。はじめはルールがよくわからなくてこまったけれど、同じはんの5年生がどこになげるといいか教えてくれました。わたしのはんがゆうしうできて、すごくうれしかったです。



ミニいすを作っています



次の一手をじっくり考え中

7月31日(金)、八幡公民館のオセロ大会に参加しました。小学校のクラブで、ボードゲームクラブに所属していたこともあったので、挑戦しました。

オセロ大会に6年生は4人参加しました。4人で総当たり戦でした。試合が始まると

八幡小学校6年 山崎 広夢

八幡公民館 思い出に残るオセロ大会



盛り上がったモルック決勝戦

小さくてかわいくて、これから大切に育てたいです。今年はいじめて子どもゼミナールにさんかしてみて、全部がとても楽しかったです。来年もまた行きたいです。

五加小学校6年 山岸 幸太

僕は、「夏休みは創造館に集まろう!木工教室」にお父さんと参加しました。木工教室では、初めに峯村

戸倉公民館 物作り最高!



4・5・6年生の優勝者!
(山崎さんは1番右)

相手がどこに置くのかをよく考えながら、自分の次の手を考えました。思った通り石をひっくり返せたときはうれしかったですが、相手にたくさん取られてしまったときは、とても悔しかったです。それでも、最後まであきらめずに考え続けました。

3回対戦し、3回勝つことができました。そして優勝できました。賞状と図書カードがもらえて、とてもうれしかったです。

友達とオセロができて楽しかったし、夏休みのいい思い出になりました。

すごく楽しかったので、みなさんもぜひ参加してみてください。



クギをまっすぐ打つのが難しい...

材木の社長さんから木について説明がありました。その説明の中で僕が初めて知ったことは、木が二酸化炭素を閉じ込めておくことができるので、地球温暖化を止めるのにとても重要な役割があることです。毎日本当に暑いので、木が増えて少しでも涼しくなるといいです。社長さんは、他にも「目の前に置いてある木の匂いをかいでみてください」と言いました。実際にかいで見ると、木の匂いは優しい匂いでした。

説明の後は、いよいよイス作りです。イスは、クギとトンカチを使って作りました。クギとトンカチを使うのは久しぶりだったので、かなりドキドキしました。説明書をみながらお父さんと作っていました。お父さんが木をおさえて僕がクギを打っていきます。クギがまっすぐに打てません。まっすぐに打てたつもりがなめになります。僕はどうしてもまっすぐに打ちたいのでやり方を少し変えました。トンカチでたたく力を弱くしてやってみました:



頑張りました! 完成!!

上山田小学校6年 塩津 春太郎

静かにろう下を歩き、本堂であいさつをして今日の「お寺で過ごそう」が始まりました。ぼくが一番心に残ったことは、1日の中で一番多く体験

上山田公民館 お寺で1日を過ごし

イスを作っている時に、木のはじっこにクギを打ったことで木が少し割れてしまう失敗もありました。トンカチで指をたたいて少し痛くなってしまう失敗もありました。けど、失敗も含めて楽しい経験ができたので、物作りが今までの以上に大好きになりました。最後に、物作りは最高に楽しいです!

が、今度はクギが入っていきません。難しいです。難しいけど、とても面白いです。トンカチでたたく音も「カンカン」と気持ち良かったです。みんな楽しくなりました。最後に、木の角をヤスリがけてイスの完成です。完成したイスに座ってみると、グラグラしない、しっかりとした良いイスができました。



心を無にして集中しています



今日の修行が始まります

した「座禅」です。足を組んで、手をたまごの形にして、心を無にして集中して座禅に取り組みました。3回目の座禅では、疲れて眠りそうになったので合しようをして、右肩をたたいてもらいました。集中力が戻るとなぜか体が少し楽になったような気がしました。

ぼくは少林寺拳法を習っていて、座禅の経験があるのでうまくできました。

少林寺拳法も初段で黒帯になりました。それは「お寺で過ごそう」に何年間か参加していたからだと思います。これからの修練にいかしていきたいです。



渓流を背後にハイポーズ!!

強い日差しや雨もなく、爽やかな天候に恵まれた7月12日(日)、埴生地区ハイキングに参加しました。目的地は赤沢自然休養林と奈良井宿。初めて訪れる場所への期待を胸に、バスは出発しました。車内では、森林鉄道や木曽檜について説明がありました。木曽檜は伐採後に強度が増すことから、古くから木造建築に用いられていたそうです。かつて木曽檜は森林鉄道で運び出され、伊勢神宮にも

埴生公民館
赤沢自然休養林ハイキングに参加して
杭瀬下分館 佐藤 早季



楽しかった
夏山ハイキング



奈良井宿を散策する参加者の皆さん

使われていたと聞き、その歴史の重みを感じました。現地へ到着し、さっそく森林鉄道乗り場へ。檜で作られた切符を手にすると、やさしい香りがふんわりと広がり、トロツコを待つ間も心が安らぎました。ゆつくりと動き始めたトロツコは、森の中を縫うように進み、目の前に広がる緑に心を奪われました。帰りは車椅子でも散策できるバリアフリーのコースを歩き、豊かな自然を感じながら集合場所へ戻りました。太陽の光を受けて輝く渓流は驚くほど透き通っていて、手を浸すと夏の暑さを忘れるほどひんやりしました。散策路の一部には檜のチップが敷かれ、足元に伝わるやわらかな感触に驚きました。鳥のさえずりや木々の間を吹き抜ける風には、日常を忘れる贅沢なひとときとなりました。



さわやかな風に癒されながら
記念写真を撮りました

10日前からスマホで上高地の天気をチェックし、時々傘マークが小さく出ると「どうか晴れますように」と願い、7月12日を迎えました。天気は曇りで何とか願いも叶い出発です。車窓から穂高連峰の稜線まで、くつきり、すつきり見えた時は「やったー」と心の中で叫びました。予定通り大正池到着です。標高1500m、気温21℃の上高地はとっても快適で、数日前に千曲市で体感した35℃を忘れさせるくらい心地よい空気でした。大正池のそばに立つと山が水面に鏡のように映り、見とれるような景色です。私の記憶では大正池と言えば「立ち枯れの木」という

戸倉公民館
上高地ハイキング
磯部分館 坂口 節子

器を眺めながら、時間いっぱい散策を楽しみました。豊かな自然や歴史に触れ、心に残る一日となりました。

以前から興味があった夏のハイキング。1人での参加に気が引けていたが、今回思い

上山田公民館
上高地へ行ってきました
漆原分館 山崎 明美

イメージだったのですが、大雨などの影響で少なくなり、大正池自体も土砂が流れ込み、少しずつ小さくなっているということでした。自然の力の前には、いつまでも同じではいけないんだと、美しい景色も少しずつ変わる現実、さみしさを感じ、今の景色を見届けようと思いました。ハイキング距離約4kmをガイドの児玉さんの説明をお聞きしながら、大正池から河童橋を目指しました。途中うぐいすのさえずりを耳にした、さわやかな風と空気の中で、癒される時間でした。河童橋周辺は雪渓が残る穂高連峰との雄大な景色に圧倒され、うまくスマホで撮りたいと思っても、今ひとつです。多くの観光客がおり、子どもからさまざまな年代の人、外国からの人、皆さんが上高地の景色に魅了されているように見えました。若者が「大自然だー」と両手を広げて笑顔になっているのを見かけ、上高地のある長野県民として、少し誇らしい気分が帰路につきま

週末もあつてか揺れる河童橋も撮影渋滞が起きていた。足に自信の無い私たちは1時間コースで、梓川の清流沿いを選んで歩き、ウエストン碑から途中昼食を取り田代橋を経てバスターミナルに到着。ソフトクリームを食べ周辺をゆつくり散策し、雄大な明神岳や穂高連峰を眺め透明な水流に見入っていた。2時間・3時間コースでじっくり歩か

切って友人に声をかけ快諾していただき、記念すべき50回目のハイキングに参加することができた。友人に感謝。行ききのバスの中、隣で爆睡する彼女。聞けば早朝より一仕事してきたと言う。「静かに眠らせてあげよう」という間に安曇野辺りの北アルプスは薄く雲がかかり、稜線はつきりせず少し残念。上高地が近づくくと普段見慣れている山と違い奥が深い。駐車場のバスは、遠くは鳥取ナンバー。訪日客も多く、いろいろな言語が飛び交っている。



雄大な自然をバックに
記念写真を撮りました



雨に濡れても楽しむ夏山ハイキング！
(左：八幡公民館、右：屋代公民館)

8月29日(土)、総参加者96人で黒部ダムと大王わさび農場散策を楽しみました。次の写真は、2枚とも黒部ダムで撮りました。

屋代・八幡公民館合同 2館合同夏山ハイキング

れた方々、お疲れさまでした。思いの外暑い上高地だったが快晴の中、目撃情報があった熊にも遭遇せず無事帰還。お土産は上高地の水と私の笑顔！
公民館の皆様ありがとうございました。次回も素敵な企画を心待ちにしています。

稲荷山公民館 夏のハイキング

8月23日(日)、参加者31人で赤沢自然休養林と奈良井宿散策を楽しみました。



森林浴を楽しみました

各館の活動報告

稲荷山公民館 松代焼体験

桑原中区 柳澤 信子

炎暑、盆前のこの企画を、ぶち込まれた稲荷山公民館さんの大胆さに、あっぱれという感じで申し込みをしました。当日、まさに酷暑ではありませんでしたが、涼しい室内で、青い作業衣姿の講師の先生が、おられ、机の上にキレイに準備された材料・道具と相まって、忘れていた心地良い緊張がみなぎり、ワクワク感が。先生のひょうひょうとし、軽妙な、そして、わかりやすく、無駄をそぎ落としたご指導に聞き入りました。



思い思いの湯飲み・茶碗を作っています

私は、生来の70歳を過ぎても、直ることない不器用さに先生は、製作の過程で淡々と直してくださり、周りの会員の方々と和気あいあいと作業を進め、心地よい時間が過ぎてゆきます。
仕上がったのちに、先生から松代焼の原料のお話や歴史をお聞きし、改めて驚くことばかりで、わが家にも、結婚式の引き出物でいただいたハート形の小鉢があり、元々お気に入りの物でしたが、さらに大切にしようと思いました。
70歳にしてこの手習いものものです。先生に持って帰っていただいて、2か月後くらいに、出上来るとのことです。どんな感じになるのか、誰もわからないそうです。そうです、AIにだってわからない。AIにわかってたまるかと思うこのごろです。器は、食べ物を入れる道具だし、感動しました。硬くなってきた脳が少し、和らいだような気がします。ありがとうございます。

八幡公民館

音楽でつながるひととき

中島 万里子

7月27日(月)、八幡公民館いきいき学級の「音楽に親しむ」講座に参加しました。講師はタジマミュージックスクルールの田島仁先生です。今回は夏休み中の小学生対象の講座と合同開催で、大人と子どもが一緒に楽しむ和やかな時間となりました。

講座は田島先生のピアノ演奏「星に願いを」から始まりました。この演奏に心を落ち着かせた後、7月の季節にちなんだ「たなばたさま」を全員で歌いながら体を動かしました。歌とリズムに合わせて体を動かすことで、自然と参加者の表情がほぐれていきま

した。続いて、「うみ」「しあわせなら手をたたこう」「オモチャのチャチャチャ」をスクーターやエッグシェイカーなどの小道具や楽器を使いながら、歌いました。歌うだけでなく、脳と体を同時に刺激する楽しいトレーニングとなり、参加者の笑顔が会場中にあふれました。
さらに、グループに分かれて「うみ」と「ぞうさん」という異なる曲を同時に歌う挑戦もしました。みんなで息を合わせて歌い切ることができ、一体感を味わうことができました。

市民講座のお知らせ ※参加には入場券が必要です。

- 日時 11月21日(土) 午後1時30分～(開場午後1時)
- 会場 戸倉創造館大ホール
- 講師 小宮山知紗さん(フリーアナウンサー/信頼構築デザイナー)
- テーマ 「千曲で育ち、今に活きるもの ～地元の温もりに育まれた私の原点～」
+ みんなで印象アップレッスン
- 入場券配布期間 10月5日(月)～23日(金) 午前9時～午後5時
(土日祝日を除く)
- 入場券配布場所 最寄りの公民館



色とりどりのスカーフをリズムに合わせて振っています

今回の講座は、多世代が音楽を通じてつながる素敵な時間となりました。

サークル紹介

よさこいちくま

屋代公民館 白石 美智子

この「よさこいちくま」のメンバーは宮島典余先生のもとで習っており、昨年屋代公民館で二十周年記念発表会を行いました。多くの方々に参加してもらいましたが、過去にも何度か節目の年に発表会を行いました。その都度お帰りになるときに、「よかった元気をもらえた」「見ていて楽しかった」「またやって欲しい」とうれしい声かけをいただきました。

我々習っている者も程よい汗を流し体をよく動かすので、健康には最高だと思っています。心も体もですが、何より足腰に最高の踊りです。元気で姿勢よく歩けるのも



サークル発表会で踊りました

ソーラン踊りのおかげと思っています。

現在会員は40代から80代半ばの15人です。月2回、第1・3木曜日の午後に練習しています。ボランティア活動も依頼があれば今までは行っていました。が、だんだん高齢化で今年を最後にやめることにしました。公民館での練習は楽しく心と体の健康維持に続けていきますので、入会を希望される方は大歓迎です。どうぞお声をおかけください。お待ちしております。

墨習会

上山田公民館 宮本 佳雄

墨習会では、墨・筆・硯・画仙紙を使い、風景や人物、動物などを題材とした水墨画を楽しんでいます。

数年前に公民館の水墨画教室が閉鎖されたことをきっかけに会を立ち上げ、現在は長野県水墨画協合理事・審査委員である先生のご指導のもと、



墨の濃淡で躍動感を表しています



和気あいあいとした雰囲気の中、熱心に作品作りに励んでいます

生徒5人が毎月1回、和気あいあいとした雰囲気の中で作品づくりに励んでいます。

日頃の成果を発表する場として、県展や北信展に出展し入選した生徒もいます。また、毎年開催される上山田文化祭にも作品を展示しています。初心者の方も大歓迎です。水墨画に興味のある方はぜひ私たちと一緒に墨の魅力に触れながら、楽しく始めてみませんか？

特集

わがまちの白樺

「新田教学講神楽保存会」の復活と歴史について

新田教学講神楽保存会

会長 長坂 善光

ある老婆が呟いた一言です。

「神楽の太鼓、笛の音が聞けない」「獅子の舞がみられなくて寂しい」この言葉に衝撃を受けました。ここで暮らす住民が故郷を感じる文化遺産は神楽だと直感し、これを契機に平成19年本格的に復活活動に入りました。

新田神楽の歴史は定かではありませんが、記録としては昭和6年新田教学講（学習グループ）青年団組織メンバーによって始められました。教学講の名前をどんな思いで付けたかは明らかではありませんが、教学とは教える者と教わる者双方均等に扱ったものであります。江戸時代の教学の精神は、学ぶ者の自主性を重んじているため、神楽保存会メンバーも自主参加であり、自主学習を基本としています。

新田神楽誕生以来95年になりますが、この間、戦争による休止、メンバーの高齢化、後継者不足及び神楽道具の欠



神楽保存会の皆さん



新入学児童のお祝いで披露された祝舞

損等で3回に及ぶ復活、休止を繰り返してきました。この反省を踏まえ、神楽の継続を前提にしたプロジェクトを編成しました。復活にあたり、第五分団消防団員を中心とした若者が立ち上がり積極的に参加してくれました。若い神楽方は全くの未経験者でしたが、桜堂神楽保存会の皆さまによる熱心なご指導により練習に励んでいます。区民の皆さまのご配慮を賜り、新田コミュニティセンター内に神楽保管場所が確保され、神楽を身近に接することができるようになりました。

年間の活動では、新入学児童・米寿祝いの記念撮影会の開催、伊勢社春季・秋季例大祭・敬老祝賀会・新田区新年会の祝舞奉納をしております。

伝統文化である神楽の保存・維持を図り、次世代に技能伝承していくとともに、皆さまに愛され親しまれる神楽としてこれからも運営してまいります。



祭り本番に向け、獅子舞の練習に
熱が入ります

「よいきたー」の
声が掛かる。横笛と
太鼓の音に合わせて
獅子舞が舞う。何回か
練習が済むと「今日
もうんまく出来たわ
な」「うんめえもん
だなー」って拍手。
本日のお稽古終了。
さて「とんとん」

お盆が終わるころ、きこえてくる笛と太鼓の音。今年もお神楽の季節がやって来た。公民館で練習が始まったわ。2・3回練習して、お八幡さんの「とんとん」だ。毎年9月14日は曜日に関係なく「とんとん」だ。そして神楽の季節の始まりだ。「とんとん」

「よいきたー」で始まり 「よいきたー」で終わる 神楽の季節

郡の獅子は漢獅子



はお八幡さんの中秋祭、次は9月20日、笹焼神社の秋祭り、最後は12月10日からの八幡さんの大頭祭で季節は終わる。雪の便りとともに大晦日へ向かう。

うちの村の神楽は戦時中に途絶えて、昭和55年ごろ復活した。当初は4人のごつしゃん（師匠）たちに、20〜40才代位の兄ちゃんたちが30人位集められて始まったが、1人抜け、2人抜け、最後に残ったのは10人くらい。「郡神楽保存会」になった。

「獅子舞は祭りの出し物だ。祭りにやあ酒が付きもんで、酔っぱらっても舞えなきゃだめだわ」ってことで、練習の初めは酒を飲むこと。当然のことながら飲めねえ者はいねえ。良い塩梅に酔ったところで太鼓から「よいきたー」の



郡神楽保存会の皆さん

当日。

公民館に集まって、区の祭典さん、高張提灯を持つ年番さん、神楽保存会で「おめでとうございます」で一杯。中原区一行とあいさつのちご出立。松田館へ向けて道中囃子で景気付け、到着した順に神楽一舞。

とある人が「モノクロの祭りだわな」と表現！
そして中宿へ。もちろん道中囃子で景気良く、中宿でも

「おめでとうございます」の一杯。宴半ばのころに宮本組ご使者から口上があり「そろそろご出立をお願いします」。

こちらでは「まだ早えから一杯やってけやー」の声。使者の口上、2・3回目でやっと出立となる。一行は行列出発

の地、上町齋の森神社へ。もちろん道中囃子で景気良く。もう大半の地区が集合している。先頭「ほうずき提灯」に隊列を整えて、いざ武水別神社八幡宮へ向けて出発。もちろん道中囃子で景気良く「よいきたー」。

1歩ほど、先頭が八幡宮の中鳥居に来たあたりで一旦停止。参道両側で仕掛け花火のご披露となる。迫力満点、豪華な花火を真近で堪能。さあ、一行は本殿に向けて再出発。本殿到着、いよいよ本番。ちなみに1番中原、2番郡で同時披露。道中囃子からゴザを広げて「よいきたー」が始まり、ホロ、オンベ外色々、東西南北払ってショ!!「ドッコイさまったー」「よいきたー」で神楽は終わり。最後は立て花火「シューシューシュードーン」「今年もうんまくいったない」。村へ帰ってまた一杯。

今回はこの辺で「よいきたー!!」続きはまたいつか!?

(注1) 中宿・休憩所

(注2) 宮本組・八幡宮の世話人会



みんなで成人式を盛り上げます!

成人式実行委員会開催

8月27日(木)、上山田文化会館において、第1回千曲市成人式実行委員会を開催しました。

当日は各公民館から選出された実行委員が集まり、正副委員長を決定し、成人式当日の運営や、役割分担を決めました。

今後はみんなの思いに残る成人式になるよう、活動を開始していきます! 今年度の千曲市成人式は、令和9年1月10日(日)に開催予定です。

※「館報ちくま」及び「もつと知りたいふるさと」は千曲市ホームページでご覧になれます。

もつと知りたいふるさと

(112)

稲荷山勇獅子・百年の伝統

千曲市稲荷山の夏を彩る「祇園祭」。その中でも勇壮な姿で人々を魅了する「勇獅子」は地域を代表する伝統文化として長年受け継がれてきました。

獅子舞は、日本では16世紀（室町時代）から飢餓や疫病を追い払う「悪魔祓い」として広まりました。現在でも無病息災や五穀豊穡を願う縁起の良い伝統芸能として各地で親しまれています。巡演の際に獅子に頭を噛んでもらうと、「神付く」に通じ、1年間健康で過ごせるという言い伝えは、今も多くの人に親しまれています。

勇獅子の始まりは大正6年にさかのぼります。地域の氏神様である治田神社が明治33年に県社へ昇格し、その後本殿が新築されたことを祝って各町では工夫を凝らした催し

物や店舗が奉納されました。

この時、東町の旦那衆が大きな獅子頭に屋台を付け、獅子舞と芸妓たちの手踊りを奉納したことが現在の勇獅子の始まりとされます。その後しばらく巡演は行われませんでした。したが、勇獅子町内巡演の声が高まり、昭和12年より祇園祭での巡演が復活しました。当初は東町単独で維持管理していましたが、のちに本八日町全体に移りました。

以来、昭和52年まで本八日町の勇獅子としてきましたが、再び管理等の負担が大きくなり一時休止を余儀なくされました。

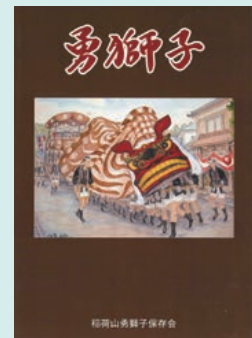
しかし、このまま勇獅子を絶やしてはならないという地域の熱い思いから、当時の町の有力者20名が発起人となり「稲荷山勇獅子保存会」が設立され、今年で保存会発足50周



稲荷山の町中を巡演



寿見世舞踊会一門による手踊り



「勇獅子-90年の歩み-」
(平成19年5月18日発行)

年を迎えます。先人たちの情熱と努力があったからこそ、今日まで受け継がれてきました。

勇獅子はお囃子に合わせ舞うことも大きな特徴です。「着倒」「ねむり」「くるい」「四丁目」「馬鹿囃子」「小鍛冶」「かたしやんざり」の7曲が場面ごとに演奏され、大胴、締め太鼓、笛、すりがね、三味線が勇壮な舞を支えます。お囃子と獅子が一体となって織りなす巡演は勇獅子ならではの大きな魅力です。

また、勇獅子は祇園祭だけでなく、八幡大頭祭、更埴どん

しゃん祭り、北信濃獅子の祭典、栗佐橋・千曲橋開通祝いにも出演し、稲荷山の伝統文化を発信してきました。近年では小学生を中心に「小獅子」も誕生し、親獅子と共に祭りを盛り上げています。子どもたちの元気な姿は、多くの観客に笑顔と感動を届けるとともに勇獅子の未来の希望にもつながっています。

勇獅子は、先人たちが守り育ててきた稲荷山の誇りであり、地域の宝です。勇獅子誕生110年、保存会発足50年という

編集後記

今号には特集で、「夏休みの思い出」と「夏山ハイキング」を取り上げ、各公民館が開催した行事に参加した体験が寄せられています。「楽しかった」「また参加したい」という感想が多くあり、来年も楽しく参加できる行事が開催されることを期待します。

行事の中で、子どもたちが両手で抱えなくてはいけないほどの大きい筆で字を書く体験を企画した地区がありました。毛筆習字は小学校の授業の中で行いますが、これほど大きい筆で字を書くということはありません。参加した小学生は、驚きと戸惑いはあったかと思いますが、自分なりの字が書け、ふだんはできない



親獅子と小獅子

稲荷山勇獅子保存会会長
宮崎 武志

節目を迎えた今、その思いを受け継ぎ、未来へとつないでいくことが私たちの役目です。勇獅子がこれからも地域に愛され、ふるさとの文化として次の世代へ大切に受け継がれていくことを願っています。

い経験ができたと思います。

私の小学校時代の思い出に「毎日習字を書く」という課題がありました。担任が書道の専門家で、昼休みに書いてきた習字の作品に朱を入れてくれました。担任は、一人ひとりの毛筆習字の技能を高めるとともに、「継続は力なり」を地道に教えてくれたのだと思います。おかげで、今でも筆で字を書くことに抵抗はありません。

このように、小学生の時に体験したことは、その先の成長につながっていきます。大筆体験もしかし、木工体験もしかし、この夏休みに体験したことが、今後の人生を豊かにする「きっかけ」になることを期待します。

(植生 H・T)